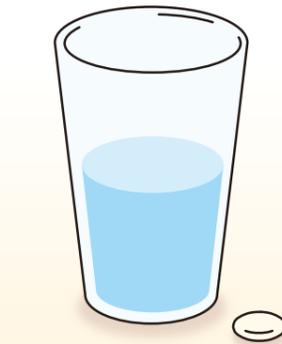


リベルサス®錠の効果を発揮させるためには 正しい服用と保管が大切です

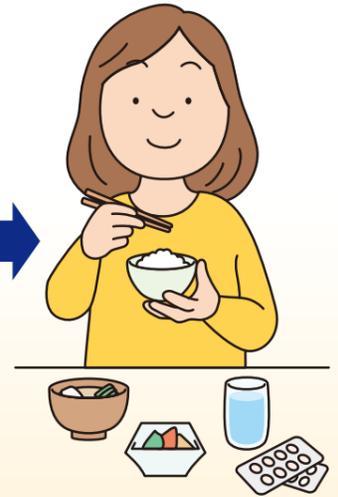
リベルサス®の服用方法



空腹時(1日の最初の飲食の前)に服用してください。起床時がおすすめです。



1錠をコップ約半分の水(約120mL以下)とともに服用してください。



服用後に、飲み物を飲んだり、食事をしたり、他のお薬を服用する場合は、少なくとも**服用後30分経ってから**にしてください。

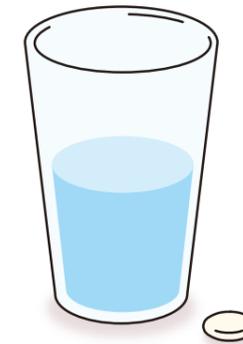
服用時の注意点



リベルサス®は湿気と光の影響を受けやすいお薬です。服用の直前に錠剤をシートから取り出してください。



錠剤を割ったり、砕いたり、噛んだりせずに、丸ごと飲み込んでください。



お茶、コーヒー、あるいは服薬ゼリーなどでの服用はせず、約120mL以下の水で服用してください。

リベルサス®錠の主な副作用

消化器 症状

胃の不快感、便秘、下痢などの消化器症状が起こることがあります。

- 症状が長く続く場合には主治医に相談してください。
- 嘔吐を伴う持続的な激しい腹痛が起こった時は、直ちに服用をやめて、速やかに主治医の診断を受けてください。

主な消化器症状

便秘

お腹が張る

下痢

むかむかする

低血糖

低血糖症状が起こることがあります。
他の糖尿病薬（SU薬やインスリン製剤など）を使用している場合は特に注意が必要です。

- 低血糖症状にそなえて、砂糖やブドウ糖の入った食べ物や飲み物を携帯しましょう。
- 低血糖症状があらわれた場合は、それらを摂取しましょう。（α-グルコシダーゼ阻害薬を併用している場合は、砂糖では低血糖症状が改善しにくいいため、ブドウ糖を含む食べ物や飲み物を摂取しましょう）

主な低血糖症状

ふるえ

どうき

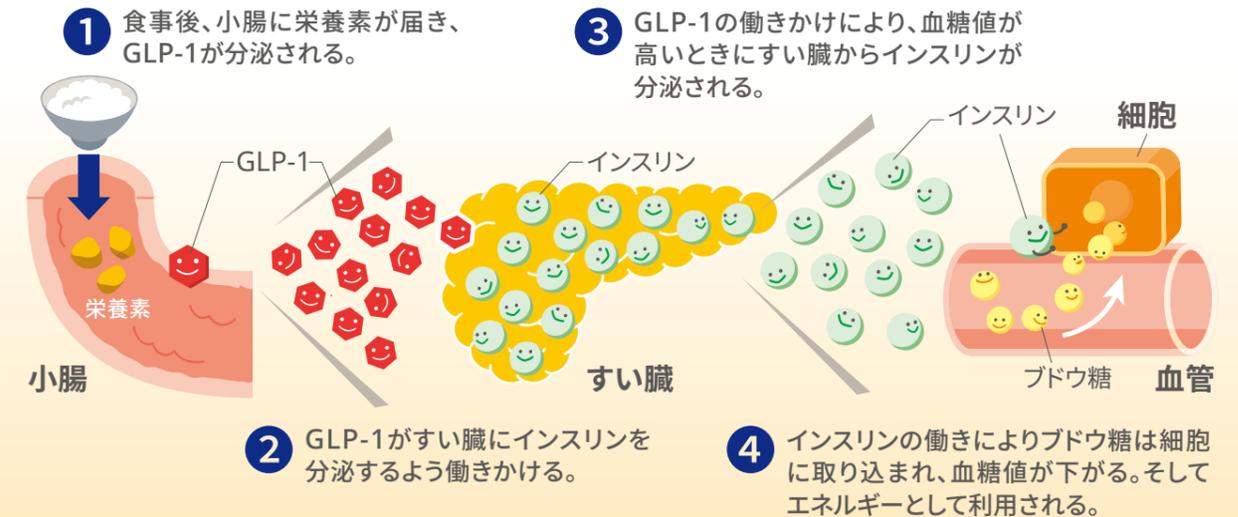
冷や汗

空腹感

リベルサス®錠は「GLP-1」というホルモンに似た作用をもつお薬です

GLP-1

GLP-1は、もともと私たちのからだにあるホルモンで、食事をとると小腸から分泌されます。血糖値が高いときに、すい臓からインスリンを出すよう働きかけます。



リベルサス®

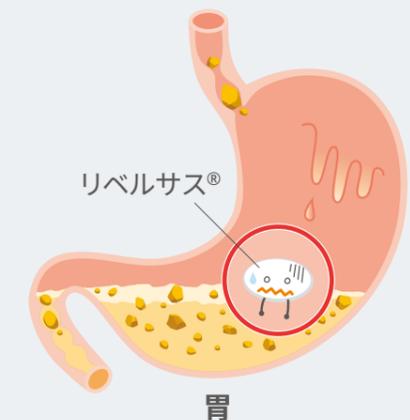
リベルサス®はGLP-1と似た作用を持ち、血糖値が高いときにすい臓からインスリンを出すよう働きかけ、血糖値を下げます。リベルサス®の効果を発揮するためには、服用前後に胃の中を空っぽにしておくことが大切です。

空腹時にリベルサス®を服用した場合



リベルサス®を空腹の状態で服用することで、胃から有効成分が吸収され、効果が発揮されます。

リベルサス®の服用前後に飲食をした場合



胃の中に食べ物や飲み物があると、有効成分が吸収されず、リベルサス®の本来の効果が発揮されません。

製造販売元〈資料請求先〉

ノボ ルティスク ファーマ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1
www.novonordisk.co.jp

販売提携〈資料請求先〉

MSD株式会社
〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア
http://www.msd.co.jp/